

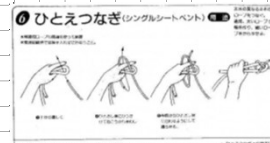



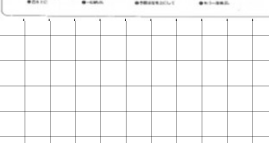
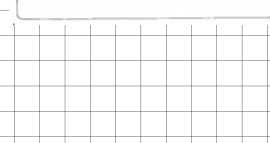


<p>テーマ ロープワーク実習</p>		<p>ポイント ① ロープワークの名称と用途について理解している。</p>	
<p>目的 ロープの結び方や用途について理解する。</p>	<p>仮説</p>	<p>② 用途に応じてロープワークができる。</p>	
<p>結論 対象物や場面によって様々な結び方があることが理解できる。</p>		<p>③</p>	
<p>内容等</p>		<p>気づいた点、疑問点、問題点、課題等</p>	<p>まとめ、考察、行動目標、改善点、研究課題等</p>
<p>1 目的 ロープの結び方の種類について理解する。</p> <p>2 方法 (1) ロープワークの名称について座学で確認し覚える。 (2) ロープワークの用途について座学で確認し覚える。 (3) ロープワークについて説明を聞き、実践する。 (4) 完成作品と照らし合わせて確認する。</p>		<p>○手順を間違えると、上手に結べない。</p> <p>○強く締まるのに、簡単に緩めることができる。</p> <p>○同じ結び方でも対象物や結ぶ方向が変わると上手にできなくなる。</p>	<p>○手順を覚えると、簡単に結べるようになった。</p> <p>○強く締まるのに簡単に緩めることができる。船やアンカーを結ぶのには大変便利な結び方が多い。</p> <p>○同じ結び方でも対象物や結ぶ方向が変わると上手にできなくなる。繰り返し練習することで、できるようになった。</p>
       		<p>評価の観点</p> <p>○関心・意欲・態度 ・他者と協働してロープワークに取り組める。</p> <p>○思考・判断・表現 ・自ら考え適切な方法でロープワークができる。</p> <p>○知識・理解 ・ロープワークの名称や用途を理解している。</p>	<p>評価の観点</p> <p>○関心・意欲・態度 ・他者と協働してロープワークに取り組める。</p> <p>○思考・判断・表現 ・自ら考え適切な方法でロープワークができる。</p> <p>○知識・理解 ・ロープワークの名称や用途を理解している。</p>
			<p>自己評価</p>